

これ一冊で! 基礎を固める



快速マスター

フランス語

Bonjour  
la France!  
Nous apprenons  
le français!

浅見子緒

MP3 CD

付き

語研

これ一冊で! 基礎を固める



# 快速マスター フランス語

Bonjour  
France!  
Nous apprenons  
le français!

浅見子緒

語研



## Préface はじめに

はじめに、本書をお手にとっていただきましたことを深く感謝いたします。

本書は、入門の方も短期間でマスターいただける「快速マスター」シリーズのフランス語版です。シリーズ最大の特徴「わかりやすさ」を活かし、日常会話に必要なフランス語のルールを、さっくり派さんにもきちんと派さんにも、わかりやすくお届けします。

フランス語と本格的な「お付き合い」を始める前に、イントロダクションの「フランス語ってどんなことば？」に是非目を通してみてください。

初めての言語＝初対面の人。初対面の人と仲良くなりたいとき「この人はどんな性格で、どんな傾向があるだろう？ 何が好きで、何を嫌うだろう？」を想像しますよね。それと同じで、「フランス語ってどんな性質で、どんな好き嫌いがあるのだろうか？」をイメージしましょう。どうやったらフランス語と仲良くなれるかの「勘（想像力）」が働くようになるのと、その後の「お付き合い」が楽になりますよ！

17 ページでは、英語との比較だけでなく日本語との比較についても触れています。

フランス語はどんな言語から影響を受けてできたのか。フランス語の「歴史」や「いま」についてちょっと想像を巡らすことで、フランス語がもっと好きになるでしょう。更に、どんな人たちとフランス語でコミュニケーションできるようになるのかをイメージすると、世界が広がりワクワクするでしょう。そんなワクワクの中、あなたとフランス語の「お付き合い」が深まることへの願いを、本書に込めました。

最後に、25年間熱心にフランス語をご指導くださり私を育ててくださった敬愛なる恩師や指導教官の先生方、その環境を用意してくれた家族、今回の執筆に当たりご著書の『基礎徹底マスター！ フランス語練習ドリル（NHK 出版）』を参考にさせていただきました慶応義塾大学教授の國枝孝弘先生、校閲を快くお引き受けくださったロイク・ホゲス先生、そして1年以上に及ぶきめ細やかな本作りを温かくご支援くださった語研編集部西山美穂さんへ、この場をお借りし心から感謝申し上げます。

浅見子緒

# Table des matières

## 目次

はじめに .....	3
本書の使い方 .....	10

### Maîtrise express du français *La grammaire*

快速マスターフランス語 文法編

イントロダクション：フランス語ってどんなことば？	14
① フランス語の歴史 .....	14
② フランス語を話す国々 .....	15
③ 世界で最も美しいことば？ .....	16
④ 英語と似ているところ，違うところ .....	16
⑤ フランス語ってズーザー弁みたい？ .....	17
<b>第 1 課</b> まずは発音の仕方からマスター！：発音と文字	<b>18</b>
① フランス語のアルファベット .....	18
② アクセント記号 .....	18
③ 母音と子音 .....	20
④ 音節を区切るもの，音を制す！ .....	23
⑤ フランス語は流れるように！ リエゾン，アンシェヌマン，エリズイオン .....	24
<b>第 2 課</b> 数字と時間，日付，曜日を言ってみよう！	<b>26</b>
① 数字は発音の例外だらけ？：基数詞 .....	26
② 順番を表す！：序数詞 .....	28
③ 月名と季節 .....	28
④ 日付は数字の前に le をつけて .....	29
⑤ 曜日 .....	30
⑥ 時刻はリエゾンのオンパレード .....	30
<b>第 3 課</b> 文を組み立てよう！	<b>34</b>
① 主語人称代名詞とは .....	34
② 文を作る最大要素は，ずばり動詞！ .....	35
③ 肯定文の作り方 .....	35

④ Non ! と言える勇気を：否定形 .....	37
⑤ Oui か Non で答える疑問形 .....	38

**第4課 チーズは男性名詞だけどバゲットは女性名詞？：名詞 42**

① 男性名詞か女性名詞？ .....	42
② 単数形か複数形？ .....	45

**第5課 名詞の前につく！：冠詞 48**

① 名詞の前に付ける小さな単語！：限定詞 .....	48
② 3種類の冠詞 .....	48
③ どの冠詞を選ぶべき？ .....	49
④ 否定文における冠詞 .....	51
⑤ 冠詞の省略や変化 .....	52

**第6課 「こ・そ・あ」：指示詞と所有詞 56**

① 指示形容詞と指示代名詞 .....	56
② 所有形容詞と所有代名詞 .....	58

**第7課 形容詞にも性がある？ 64**

① 形容詞の性と数：名詞に合わせて .....	64
② 不規則な変化をする形容詞 .....	64
③ 前か後か？：形容詞の位置 .....	65

**第8課 「トレビアン」は変化しない！：副詞 68**

① 副詞とは .....	68
② 副詞の作り方 .....	68
③ 副詞としても用いられる形容詞 .....	70
④ 副詞の位置 .....	71

**第9課 比べよう！：比較級と最上級 74**

① 比較表現 .....	74
② 最上級 .....	75
③ bon, bien の比較級・最上級 .....	77
④ 比較を用いた表現 .....	78

<b>第 10 課</b>	<b>大まかな量なら、不定形容詞と不定代名詞に！</b>	<b>82</b>
①	不定形容詞と不定代名詞 .....	82
②	不定形容詞 .....	82
③	不定代名詞 .....	84
④	tout について .....	85
<b>第 11 課</b>	<b>「A=B」を表す動詞 être</b>	<b>88</b>
①	être の活用と使い方 .....	88
②	接続詞 et と ou .....	89
③	前置詞 .....	90
④	人を紹介し、説明する C'est と Il est .....	91
<b>第 12 課</b>	<b>年齢は「持つ」もの？：動詞 avoir</b>	<b>96</b>
①	avoir の用法と活用 .....	96
②	avoir を使った表現 .....	97
③	Il est と Il y a の使い分け .....	97
④	場所を表す表現 .....	98
<b>第 13 課</b>	<b>動詞は変化する！</b>	<b>102</b>
①	「愛する」は er 動詞 .....	102
②	愛が「終わる」は ir 動詞 .....	105
③	re 動詞と oir 動詞 .....	107
<b>第 14 課</b>	<b>未来や過去を表せる！ aller と venir</b>	<b>110</b>
①	aller 「行く」 .....	110
②	venir 「来る」 .....	112
③	よく使われる前置詞のまとめ .....	113
<b>第 15 課</b>	<b>Je t'aime. の t' : 人称代名詞</b>	<b>116</b>
①	代名詞の強勢形 .....	116
②	目的語人称代名詞とは .....	117
③	直接目的語代名詞 .....	118
④	間接目的語代名詞 .....	120
<b>第 16 課</b>	<b>中性代名詞はイヤンと覚える</b>	<b>124</b>
①	中性代名詞とは？ .....	124
②	y の用法 .....	124

③ en の用法 .....	126
④ その他の中性代名詞 .....	130

**第 17 課 自分の行為が自分に返る！：代名動詞 132**

① 動作が自分に返る「再帰」的代名動詞 .....	133
② 「互いに」相互的代名動詞 .....	134
③ 「～される」受動的代名動詞 .....	134
④ 代名詞自体の意味はない「本質」的代名動詞 .....	134

**第 18 課 動詞にニュアンス、会話を豊かに！：準助動詞 136**

① 準助動詞とは？ .....	136
② pouvoir 「～できる」 .....	136
③ devoir 「～しなければならない」 .....	137
④ vouloir 「～したい」 .....	138

**第 19 課 「○○して！」：命令文 142**

① 命令形 .....	142
② 否定命令 (= 禁止) .....	143
③ 命令文における目的格代名詞の位置 .....	143
④ 命令形を用いなくて、命令を表す言い回し .....	144

**第 20 課 倒置してもしなくても OK！5WH の疑問文 146**

① 疑問詞の種類 .....	146
② 疑問詞の位置 .....	146
③ それぞれの疑問詞の用例 .....	148

**第 21 課 過去の出来事について話そう！：複合過去 154**

① 複合過去とは .....	154
② 複合過去の用法 .....	154
③ 複合過去の作り方 .....	155
④ 複合過去と一緒によく用いられる時間表現 .....	158

**第 22 課 過去の状態について話してみよう！：半過去 160**

① 半過去の作り方 .....	160
② 半過去の用法 .....	161
③ 複合過去と半過去の使い分け .....	163
④ 大過去 .....	164



<b>第 23 課</b>	<b>ささいな会話は非人称で！</b>	<b>166</b>
①	天気の実現で使われる“il” .....	166
②	その他の“il” .....	167
<b>第 24 課</b>	<b>「～だとうれしいわ！」：接続法</b>	<b>170</b>
①	接続法は主観的な出来事 .....	170
②	接続法の活用 .....	170
③	接続法か直接法か？ .....	171
④	対立と譲歩を表す接続法 .....	172
<b>第 25 課</b>	<b>「～される」と「～させる」！：受動と使役</b>	<b>174</b>
①	「～される」受動態 .....	174
②	「～させる」使役文 .....	175
<b>第 26 課</b>	<b>2種類の未来形：近接未来と単純未来</b>	<b>178</b>
①	2つの未来形 .....	178
②	単純未来の作り方 .....	178
③	単純未来の用法 .....	180
④	近接未来と単純未来のニュアンス .....	181
<b>第 27 課</b>	<b>～しながら？：ジェロンディフ</b>	<b>184</b>
①	ジェロンディフとは .....	184
②	ジェロンディフの作り方 .....	184
③	現在分詞の用法 .....	185
<b>第 28 課</b>	<b>動詞は活用だけじゃない！：不定法</b>	<b>186</b>
①	不定法とは .....	186
②	名詞の代わりになる不定法 .....	186
③	命令形の代わりになる不定法 .....	187
④	不定法現在と不定法過去 .....	187
⑤	意味を補う不定法 .....	188
⑥	修飾もする不定法 .....	189
<b>第 29 課</b>	<b>フランス語の丁寧語！：条件法</b>	<b>190</b>
①	丁寧さをプラス .....	190
②	条件法の活用 .....	190

③ 条件法の用法 .....	191
④ 「もし〜だとしたら」：現実に反する仮定 .....	192

**第 30 課 2つの文を1つに合体！：関係代名詞 194**

① 関係代名詞とは？ .....	194
② 4つの関係代名詞 .....	194
③ ce qui, ce que, ce dont 「〜というもの」 .....	196
④ 強調構文 .....	196

練習問題 解答 .....	198
---------------	-----

**Maitrise express du français *Expressions de la conversation***

**快速マスターフランス語 会話表現編**

第 1 課 「出会いの」ことば .....	204
第 2 課 自己紹介で自分を知ってもらおう！ .....	208
第 3 課 依頼と感謝・謝罪のことば .....	216
第 4 課 街中での会話とトラブルに対処！ .....	218
第 5 課 ホテルで！ .....	230
第 6 課 レストランやカフェで！ .....	234
第 7 課 ショッピングで！ .....	244
第 8 課 旅に出よう！ .....	254
第 9 課 フランス語で習い事をしよう！ .....	260
第 10 課 「喜」「怒」「哀」「楽」のことば .....	264
第 11 課 とっさの一言！ .....	266
第 12 課 フランス語圏の人たちと話してみよう！ .....	270

文法編索引 .....	278
-------------	-----

【ネイティブチェック】 Loïc Roguès

【装丁】 神田 昇和（フォーマット=早瀬 芳文）

【吹込】 Christian Bouthier

Clair Renoul

Shio Asami

### 1. 「目次」のわかりやすさ

本書の特徴である「わかりやすさ」を「目次」にしたためました。まずは目次のページを開き、全体を眺めてみてください。フランス語の基礎文法の全体像が見えてくるはずです。最終ゴールへ到達するまでに、どんな通過地点があるのか、皆さんの目的に応じ立ち止まるべき通過地点がないかをイメージしてみてください。学習計画を立てるうえで、「目次」が大いに役立つでしょう。

### 2. 目的に応じた使い分け

本書は「文法編」「会話表現編」に分かれているので、目的別に必要なページから読んでいただくことができます。

#### ● 数ヶ月後に旅行に行く方へ：

いきなり会話表現編から入っても OK です。余裕があれば前半の文法編にも目を通してみましょう。ロジックがわかると、会話表現編で学習した表現がよりご自身の中に定着します。

#### ● フランス語の発音に苦手意識のある方へ：

第1課の「発音をマスター」をあえて飛ばします。会話表現編（または文法編）で興味のある箇所の CD を聴いてリピート練習し、なんとなく発音できた、と感じるようになったら、綴りを確認します。それをくりかえすうちに、綴りと発音に規則性があることに気付くようになります。その「気付き」が正しいかどうかを、第1章の「発音をマスター」に戻って確認します。ゲーム感覚で発音のルールを探ってみませんか。

#### ● 文法とじっくり向き合いたい方へ：

冒頭から順に読み進めていきます。1日1章をマスターすれば、1か月弱でフランス語の基礎文法がマスターされることになります。ただし、文法を一度に覚えきるのは不可能ですので、気になったら何度でも立ち返ってください。後半の会話表現編ではフランス語の応用力を身につけてください。中上級への基礎固めが完成し、今後も実りある学習を実感いただけることでしょう。

### 3. CDで耳を鍛え、発話力をアップ

付属のCDでネイティブの美しい発音を確認することができます。以下の勉強方法が耳を鍛えるのにおすすめです。

- 1 文面を見ずに聴いてみます。
- 2 聞こえたままの発音で、文面を見ずにリピートしてみます。フランス人になった気分でやってみましょう。納得いくまで何回でも聴いてやってみてもOKです。
- 3 文面を見て、綴りを確認しながら聴きます。一緒に発音してみても良いでしょう。
- 4 文面を見ながら、正確にリピートします。納得のいくまで何回でも行います。早く話そうと思わず、丁寧にリピートするのがポイントです。
- 5 正確にリピートできるようになったら、笑顔でリピート、泣きながら（泣く真似をしながら）リピート、不機嫌な表情でリピート、など、表情を変えてリピートしてみます。実際に発話するとき、いつも笑顔でいられるとは限りませんので、実際の会話ですぐに表現が口について出てくるようにリハーサルしておきましょう。

### 4. 「説明」のわかりやすさ


フランス語が全く初めての方にも丁寧に、少しかじったことのある初級レベルの方にも納得いただけるよう、すべての文法事項に言及することは控え、日常会話において最低限必要な文法を扱いました。各章には、皆様の理解度を試していただくための練習問題を設けました。

「わかりやすさ」を最大限に活かすため、多くの方にとってなじみのありそうな英語との比較に、随所で触れています。「I love you.」の英語がわかれば大丈夫、英語が苦手という方も心配りません。「フランス語って英語と似ているようで違う、違うようで似ているところがあるんだなあ」と感じていただければOKです。

本文中のタイトル・サブタイトルには、フランス語での文法項目も記載しました。ネイティブの先生と学習されている方にも、必要な項目をスムーズに見つけていただけます。

「快速マスターフランス語」で、「文法編」「会話表現編」「CD」を駆使しながら、ご自身に合ったフランス語マスターへの近道を見出してください。

### 【付属の MP3 CD について】

- ※ フランス語のみ、自然な速さで収録しています。（収録時間：2 時間 35 分）
- ※ 本文中に □ で示した箇所は音声収録してあります。トラック番号は  **001** マークをご確認ください。
- ※ 付属のディスクは、MP3 形式の音声データを収録した CD-ROM です。コンピュータと光学式ドライブを使ったデータコピー、再生が可能です。
- ※ 付属のディスクは、音楽用 CD プレイヤーやカーオーディオなどでは再生できない場合があります。再生方法の詳細や制限につきましては、ご利用の再生機器のマニュアルをご参照ください。

快速マスター  
フランス語

Maîtrise express du français

文法編

La grammaire

# Introduction : Qu'est-ce la langue française ?

## イントロダクション：フランス語ってどんなことば？

### 1

## L'histoire de la langue française

### フランス語の歴史

*La langue française, qu'est-ce que c'est ?*

#### フランス語とは

フランス語は、イタリア語やスペイン語とともに、俗ラテン語から派生したロマンス諸語のひとつです。フランス語は、英語とも共通点が多く、よく比較されますが、実は英語からの本質的な影響は案外少ないことが歴史からわかってきます。フランス語がどんな言葉かを探るべく、そのルーツをたどりましょう。

*L'origine de la langue française*

#### フランス語の祖先

BC50年頃ローマ帝国に征服されるまで、ケルト人の住むガリア（現在フランスのある土地）ではケルト語が話されていました。ところが、ローマ帝国によって征服されるとカエサル の兵士たちにより俗ラテン語がもたらされました。

5世紀、フランク族とよばれるゲルマン系の民族が北から侵入し、ガリア全体を支配するようになりました。そこで、これまで話されていたラテン系のオイル語(オイル = oui「はい」に派生)はゲルマン語(ドイツ語や英語の祖先)の影響を受け、ゲルマン系の単語も多くもたらされました(jardin 庭, haie 垣根, robe ドレス, gant 手袋, farder 化粧する, danser ダンスする, riche 豊かな, bleu 青など)。ゲルマン語の単語には、w から始まるものがありますが、ラテン語を話すガリア人にとっては発音しにくかったようです。そこで、w の前に g の音を付けて発音されるようになりました。次第に w は落ちて g だけが残る、現代フランス語に至ります。guerre (英: war 戦争), garant (英: warrant 保証), guichet (英: wicket 窓口)などがその例です。

1066年の英国征服により、フランス語はイギリスの貴族社会の公用語となり、多くのフランス語の単語が英語に流入されました。その頃、フランス語にはアラビア語の単語もイタリア語やスペイン語を経由してフランス語に入ってきました(alcool アルコール, bougie ろうそく, hasard 偶然, orange オレンジなど)。

*Le français du Moyen Age*

#### 中世のフランス語

13世紀には、フランスの公的文書はパリ周辺の方言であるフランシア語に統一されるようになりました。16世紀頃のルネッサンス時代には、文化の中心であるイタリアから、

経済・戦争・芸術用語などが入ってきました (banque 銀行, canon 大砲, concert コンサート, balcon パルコニー など)。17 世紀, フランス語は植民地政策により西アフリカ, カナダ, カリブ海地域にも広がりました。

*Le français d'aujourd'hui*

## フランス語の今日

17 世紀に, フランス語の純度を維持するために『アカデミー・フランセーズ』という学術機関が創設され, 現在でもフランス語の規範を守っています。

ところが 2016 年 9 月より, 一部のアクセント記号が小学校の教科書から消えることになりました。また, oignon (玉ネギ) が, 発音に忠実に, ognon と綴られることも, アカデミー・フランセーズにより承認されました。この変更は, 綴りの誤りを是正するのが目的です。

純粋なフランス語の確立という歴史の傍ら, フランスには弾圧されてきた数々の方言 (ブルターニュ地方のブルトン語, 南仏のプロヴァンス語など) があります。20 世紀に入り, 方言を話す人の高齢化や人口減少に伴い, 伝統的な方言を温存しようとする運動が高まりを見せています。

## 2

*Les pays francophones*

## フランス語を話す国々

かつてヨーロッパでの公用語はフランス語で, 政府間の公的文書はフランス語で書かれていました。現在でもフランス語は国連やオリンピック, ユネスコなどの国際機関の公用語で, 英語に次ぐ国際語です。

フランコフォニー国際機関 (2014 年調べ) によると, 世界でフランス語を公用語とする国は 29 개국, 母語とする人は 2 億 7400 万人, うちフランス国内 (南米などの海外領土を含む) で約 6300 万人, その他, ヨーロッパのフランス語圏 (ベルギー, スイス, ルクセンブルク) や, カナダのケベック州, アフリカなどで広く話されています。アメリカでも, フランス人によって初めて開拓されたルイジアナ州 (Louisiana はルイ 14 世に由来) やニューオーリンズ (New Orleans はオルレアンに由来) という地名はフランス語に由来します。



## 3

*La plus belle langue du monde ?*

## 世界で最も美しいことば？

フランス語はよく、発音が美しいと言われます。それはなぜでしょう。

フランス語は母音を大切に言語です。母音を美しく発音することで、優しく流れるような、なめらかなことばに聞こえます。更になめらかに発音するために、単語と単語を繋げて読ませたり（リエゾンやアンシェヌマン）、動詞の活用規則を少し変えて発音しやすくしたり、というような規則まで出来上がりました。音の美しさを守るためなら文法も変えてしまおうという考えが、今の文法の根底にあります。フランス語の16種類の母音をそれぞれ正しく発音することも、美しいフランス語を発音する手段と言えます。ネイティブの、聞こえたままの音をご自身で再現してみてください。

## 4

*Les points communs et différents entre le français et l'anglais*

## 英語と似ているところ、違うところ

フランス語は歴史上、英語からの影響は実はあまり受けていません。ところが、英語の祖先であるゲルマン語の影響を大いに受けているため、英語との共通点が多くあります。英語とフランス語を比較してみましょう。

*Les mêmes origines*

## 祖先のそのまた祖先が同じ

英語の祖先はゲルマン語、そのまた祖先はインドヨーロッパ語。フランス語の祖先はラテン語、そのまた祖先はインドヨーロッパ語。というわけで英語もフランス語も同じ祖先を持ち、ともにラテン語に起源を持つ単語を多く取り入れることとなります。語順もほぼ同じで、動詞の語形変化（英語の be 動詞が、I am, you are, he is と主語によって変化すること）があることも共通しています。

*Le français dans la langue anglaise*

## 英語になったフランス語

イギリスでは1066年のノルマン人の英国征服から300年間余り、フランス語が上流社会での公用語として話されていました。今でもフランス語からの借用語が英語にたくさん存在します。例えば、同じ「牛」を指すとき、かつての農家（イギリス系）の扱う cow と、貴族（フランス系）の食す beef の両表現が今でも用いられています。また、フランス語は英語の文語的表現として英語の中に残っています（例えば、英語の日常会話で「尋ねる」は to ask ですが、文語では、フランス語 demander の借用語 to demand が用いられます）。

「フランス語は英語に比べて発音が難しい」という意見をよく耳にしますが、実は、フランス語は日本語との共通点もあり、日本人にとってはフランス語のほうが発音しやすいと言う見方があります。例えば、英語の母音が20個あるのに対し、フランス語の母音は16個しかありません。

フランス語は、綴りと発音の規則も整っているため、規則さえ知っていれば、初めて見る単語も読めてしまいます。

発音上の違いは、英語には強弱アクセントがあり、フランス語には強弱アクセントがないことです。全体的に平坦な声で発音します。

また文法上の大きな違いは、名詞や形容詞に性別があること、冠詞が3種類あること、所有形容詞の変化の仕方に違いがあること、接続法があることなどですが、論理的な規則が根底にあるので、学びやすいと言えます。

英語が得意な方は、英語の知識をヒントに、勘を役立たせてみてください。英語が苦手な方は、英語独特のクセが邪魔することなく、論理的にフランス語を習得できますので、自信を持ってフランス語に挑戦してください。

## 5

*Le français, c'est comme le japonais du Nord-Est ?*

## フランス語ってズーズー弁みたい？

フランス語は、文章の最後、意味ごとのまとまりの最後、単語の最後の音節（語末のeを除く）を尻上がり気味に発音します。そのため、東北弁（ズーズー弁）に似ているとも言われます。

フランス語の発音は比較的平坦で、音節で区切られた「拍」と「拍」が同じ長さであることも、日本語と似ています。pot au feu（ポ・ト・フ）や Qu'est-ce que c'est ?（ケ・ス・ク・セ）、café au lait（カフェ・オ・レ）など、一拍ずつ均等な長さで発音します。また、母音を美しく発音し分けることで美しさが引き立つ点も日本語に似ています。

フランス語の発音は難しい、という先入観を捨て、フランス人になった気分で、ネイティブの音を「聞こえたまま」リピートしましょう。

## 1

## L'alphabet

## フランス語のアルファベット

フランス語のアルファベット「アルファベ」は、英語と同じ26個の綴り字から成ります。他に、caféのéのようにアクセント記号を付けたものがあります。

001

□Aa [a] ア	□Bb [be] ベ	□Cc [se] セ	□Dd [de] デ
□Ee [ə] ウ	□Ff [ef] エフ	□Gg [ʒe] ジェ	□Hh [a] アッシュ
□Ii [i] イ	□Jj [ʒi] ジ	□Kk [ka] カ	□Ll [el] エル
□Mm [em] エム	□Nn [en] エヌ	□Oo [o] オ	□Pp [pe] ペ
□Qq [ky] キュ	□Rr [ɛ:r] エーる	□Ss [es] エス	□Tt [te] テ
□Uu [y] ユ	□Vv [ve] ヴェ	□Ww [dubleve] ドブルヴェ	□Xx [iks] イクス
□Yy [iguɛk] イグれック	□Zz [zed] ゼッドウ		

## 2

## Les signes orthographiques

## アクセント記号

フランス語にはアクセント記号があります。発音に影響するものと、そうでないものがあります。

## L'accent aigu

## ニコッと笑って！ アクサン・テギュ

002

é : eを [ə] ウでなく, [e] エ (「イ」の口のまま「エ」と発音) と読ませます。

- café [カフェ] (コーヒー)
- élégant [エレガン] (エレガント)
- étudiant [エテュディアン] (学生)



**口を大きく！大きくアクセサン・グラーヴ**

è : e を [ə] ウ でなく, [ɛ] エ (「ア」の口のまま「エ」と発音) と読ませます。

- père [ペーる] (父)
- bière [ビエーる] (ビール)



à, ù : 発音に影響しません。

- à [ア] (～で, ～に)
- où [ウ] (どこ)

**三角帽子！アクセサン・シルコンフレックス**

ê : è と同じ発音です。

- crêpe [クレープ] (クレープ)



â, î, ô, û : 発音に影響しません。歴史的に、後ろに子音があったことを示します。

- île [イル] (島)
- hôpital [オピタル] (病院)

**Cにつく！セディエウ**

ç : c を [k] でなく, [s] の音で読ませます。

- ça [サ] (それ)
- français [フランセ] (フランス語)

**切り離す！トレマ**

2つ以上の母音を切り離して読ませます (e についた場合は発音に影響しないこともあります。例: Noël [ノエル])。 □ mosaïque [モザイク]

## 3

## Les voyelles et les consonnes

## 母音と子音

Les voyelles simples

## 単母音字

母音字の綴りは, a, e, i, o, u です。1つのアルファベットで表される母音を単母音と言います。フランス語の音としての母音は、鼻母音を含め16種類あります。16種類の音を区別して発音できるようになるために、カタカナに頼らずネイティブに近い発音を心がけましょう！

003

a, à, â	ア	□ arbre [アールブル] (木) □ là [ラ] (そこ) □ gâteau [ガト] (お菓子)
e (語末で)	無音	□ fromage [フロマージュ] (チーズ) □ le [ル] <男性単数名詞(の前)につける定冠詞>
e (音節の切れ目で)	ウ	□ cheval [シュヴァール] (馬) □ petit [プティ] (小さい)
e (それ以外で)	エ	□ caramel [キャラメル] (キャラメル) □ gourmet [グルメ] (グルメ)
é	エ (狭い)	□ café [カフェ] (コーヒー) □ école [エコール] (学校)
è, ê	エ (広い)	□ crème [クレーム] (クリーム) □ être [エートル] (~は~だ)
i, î, y	イ	□ idée [イデ] (考え) □ île [イル] (島) □ style [スティール] (スタイル)
o, ô	オ	□ poli [ポリ] (丁寧な) □ hôtel [オテル] (ホテル)
u, û	ユ	□ bus [ピュス] (バス) □ mûr [ミュール] (熟れた)

Les voyelles composées

## たくさん書くのに短く発音！ 複母音字

2つ以上の母音字が重なると複母音字になり、単独の場合とは異なる音になります。以下の複母音字は母音と母音の間で切らずに、1つの音として発音しましょう。

ai, ei	<b>エ</b>	□fraise [フレーズ] (苺) □Seine [セーヌ] (セーヌ川)
au, eau	<b>オ</b>	□au [オ] (～入りの, ～に) □bureau [ビュロ] (事務所)
eu, œu	<b>ウ</b> (エに近い)	□beurre [ブール] (バター) □sœur [スール] (姉妹)
ou	<b>ウ</b> (口を丸く突き出す)	□bonjour [ボンジュール] (おはよう／こんにちは) □chou [シュー] (キャベツ)
oi	<b>オワ</b>	□croissant [クロワッサン] (クロワッサン) □noir [ノワー] (黒)

Les voyelles nasales

**口の動きをストップ! 鼻母音**

母音字の後に m, n がくると、鼻母音になります。フランス語に特有の、鼻にかかると言われる音で、口と舌の動きをストップさせて発音します(そうすると自然と鼻が響きます)。

以下の表に示した4種類の音があります。本書では [ɔ̃] を [オン] とし, [ã] [ɛ̃] [œ̃] を「アン」と表記しました。本来はこの3つの音は異なる音です(ただし, [œ̃] の綴り字は [ɛ̃] と発音されることも多い)ので、発音するときに注意しましょう。

004

an, am, en, em	<b>[ã] アン</b> (口を大きく開き「オン」と言う)	□France [フランス] (フランス) □piment [ピマン] (トウガラシ)
in, im, ain, aim, ein, eim, ym, yn	<b>[ɛ̃] アン</b> (唇を少し横に引いて「アン」と言う)	□Inde [アンドゥ] (インド) □pain [パン] (パン) □éteindre [エタンドゥ] (消す) □sympa [サンパ] (感じの良い)
on, om	<b>[ɔ̃] オン</b> (口を縦長に開き「オン」と言う)	□nombre [ノンブル] (数) □bon [ボン] (良い)
un, um	<b>[œ̃] アン</b> (口を小さめに四角く開き「アン」と言う。[ɛ̃] で発音してもよい)	□un [アン] (1) □parfum [パルファン] (香り)

Les consonnes

**柔らかな子音**

子音字は、母音以外の綴り字です。多くの子音は英語よりも柔らかく発音します。原則として単語の最後の子音は読みません。

□ chocolat [ショコラ] (チョコレート) □ quartier [カルティエ] (地区)

ただし, c, f, l, r はほとんど発音されます (英語の **careful** と覚えましょう)。

□ avec [アヴェック] (~と一緒に)  
 □ bonjour [ボンジュール] (おはよう, こんにちは)  
 □ chef [シェフ] (シェフ) □ sol [ソル] (地面)

r は, 日本語のアールとも, 英語の r と異なる音です。舌を下の歯の裏に当て (母音を出すときと同じ位置で), たんを出すときのように喉を摩擦させて出します。カタカナのハ行に近い音です (本音では「らりるれろ」のように示しました)。

h は発音しません。

□ hôtel [オテル] (ホテル)

その他, 注意すべき子音を, 下の表に示しました。複子音は表の下部の ch, gn, ph, th です。

ca, co, cu	カ, コ, キュ	□ cacao [カカオ] (カカオ) □ cognac [コニャック] (コニャック)
ce, ci, cy	ス, スイ, スイ	□ ceci [ススイ] (これ) □ cinéma [スイネマ] (映画)
ça, ço, çu	サ, ソ, スユ	□ ça [サ] (それ) □ leçon [ルソン] (授業) □ reçu [るスユ] (レシート)
ga, go, gu	ガ, ゴ, ギュ	□ gare [ガーる] (駅) □ égo [エゴ] (自己) □ légume [レギューム] (野菜)
ge, gi, gy	ジュ, ジ, ジ	□ âge [アージュ] (歳) □ gilet [ジレ] (ベスト) □ gym [ジム] (体操)
gue, gui	グ, ギ	□ vague [ヴァーグ] (波) □ guitare [ギターる] (ギター)
ch	[ʃ] シュ	□ chocolat [ショコラ] (チョコレート) □ chat [シャ] (猫)
gn	[ɲ] ニュ	□ champignon [シャンピニオン] (キノコ) □ signe [スイーニュ] (記号)
ph	[f] フ	□ photo [フォト] (写真) □ téléphone [テレフォンヌ] (電話)
qu	[k] ク	□ question [ケスティオン] (質問) □ qualité [カリテ] (質)
th	[t] トウ	□ thé [テ] (お茶) □ théâtre [テアトゥる] (劇場)

**hは発音しないのに？ 無音のhと有音のh**

綴り字 h は発音されませんが、文法上「無音の h」と「有音の h」の区別があります。多くの h は「無音の h」で、リエゾン、アンシェヌマン、エリズィオンを起こします（母音と同じ扱いです）。「有音の h」も発音こそされませんが、無音の h と違うのは、リエゾン、アンシェヌマン、エリズィオンを起こさない点です（子音と同じように扱われます）。

□ les [レ] + héros [エロ] → les héros [レ エロ] (英雄たち)

007

仮に les héros をリエゾンして読むと「レゼロ」となり、数字の zéro との区別がつきにくくなってしまいます。

## 4

## Les syllabes

**音節を区切るもの、音を制す！**

フランス語を正しく読むためには、音節ごとに区切る方法が有効です。ここではネイティブの会話の発音に近づけるべく、語末の e は発音されないものとし、音節をなさない区切り方をしました。語末の e に遭遇したら、直前にある子音を弱く発音しましょう。

例えば、table (テーブル) は綴りの上では 2 音節ですが、語末の e に声を乗せず、1 音節のように発音するとネイティブらしくなります。

また、語が子音で終わっている時も、声を出さずに弱く発音してみましょう。英語の book 「ブック」を、[ブック] と 2 拍ではなく、[ク] を小さく 1 拍で発音するのに似ています。

では、音節の区切り方を見ていきましょう。

008

① 発音される **母音** を探します。複母音字や“音 + r”は 1 つの母音とみなします。

□ Je voyage souvent en Australie.

② その母音の次にくる子音の直前で区切ります。

Je vo-yage sou-vent en Aus-tra-lie.

1 2 3 4 5 6 7 8 9

③ “母音 + n, m”は鼻母音で、1 つの音節とみなします。

Je vo-yage sou-vent en Aus-tra-lie.

④ 子音が連なる場合、間で区切ります。

Je vo-yage sou-vent en Aus-tra-lie.



- ⑤ ただし、**ch, ph, rh, th, gn** の複子音字や、“子音+ l”, “子音 + r” は、ひとつの子音とみなし、間で区切りません。
- Il prend une **crème brûlée** et un **cham-pagne**.  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- ⑥ 同じ母音字が連なる場合、間で区切ります。
- Mer-ci de votre **co-opé-ra-tion**.  
1 2 3 4 5 6 7 8
- ⑦ 半母音として発音される“i+ 母音” “u+ 母音” “ou+ 母音” は間で区切りません。
- Je suis **cui-si-nier**. J'ai **som-meil**.  
1 2 3 4 5 1 2 3

## 5 フランス語は流れるように！ リエゾン、アンシェヌマン、エリズィオン

フランス語の発音が美しく聞こえるのは、「流れるように読む」3つのルールがあるためとも言われます。リエゾン、アンシェヌマン、エリズィオンの3つのルールです。単語が母音や無音の **h** で始まるときに、これらのルールが適用される可能性があることを疑いましょう。

*La liaison*

### つながると音が蘇える！リエゾン

009

発音されない語末の子音字が、母音や無音の **h** で始まる次の単語の最初の綴り字と結びついて発音される現象を、リエゾンと言います。

- mon [モン] + ami [アミ] → mon ami [モ ナミ] (私の友だち)
- trois [トゥールワ] + oranges [オランジュ] → trois oranges [トゥールワ ゴランジュ]  
 (オレンジ3個)

*L'enchaînement*

### つながると音が変化する！アンシェヌマン

010

発音される語末の子音字が、母音や無音の **h** で始まる次の単語の最初の綴り字と結びついて、ひとつの音として発音されることがあります。これをアンシェヌマンと言います。

- une [ユヌ] + amie [アミ] → une amie [ユ ナミ] (1人の女友達)
- cinq [サンク] + oranges [オランジュ] → cinq oranges [サン コランジュ]  
 (オレンジ5個)

ce [ス], de [ドゥ], ne [ヌ], que [ク], le [ル], la [ラ], je [ジュ], me [ム], te [トゥ], se [ス]などは、次の単語が母音や無音の **h** で始まる時、語末の母音が落ちて、アポストロフ (') で次の単語とつながれます。これをエリズイオンと言います。

- ce [ス] + est [エ] → c'est [セ] (それは～だ)
- je [ジュ] + ai [エ] → j'ai [ジェ] (私は持っている)
- la [ラ] + eau [オ] → l'eau [ロー] (水)

## Exercices 練習問題

1 音節に区切って発音しましょう。

012

- (1) □ décoration      (2) □ pamplemousse      (3) □ fierté
- (4) □ poissonnerie      (5) □ intérieur      (6) □ marchandise
- (7) □ maison      (8) □ ordinateur      (9) □ bourgeoisie
- (10) □ gigantesque

2 必要であればエリズイオンを行いましょ。

013

- (1) □ Je habite près de Avignon. (私はアビニヨンの近くに住んでいます)
- (2) □ Ce est le endroit que je aime le plus. (私が一番好きな場所です)

▶ 解答 p.198

## 1

## Le numéral cardinal

## 数字は発音の例外だらけ? : 基数詞

フランス語は原則として、単語の最後の子音は発音しません。ところが、5～10は最後の子音を発音する、という例外が続きます。16までは特別な言い方があるので注意しましょう。

「今は7時だから?」「sept... !」, 「今月は11月だから?」「... onze !」のように、思いついた数字を都度フランス語に変換する練習を続けると、数字をランダムに覚えることができます。また、奇数だけ、偶数だけを数えたり、100から0まで上から数えたりする練習も、数字を覚えるのに効果的です。

014

□ 0 zéro	□ 1 un/une	□ 2 deux	□ 3 trois
□ 4 quatre	□ 5 cinq	□ 6 six	□ 7 sept
□ 8 huit	□ 9 neuf	□ 10 dix	□ 11 onze
□ 12 douze	□ 13 treize	□ 14 quatorze	□ 15 quinze
□ 16 seize	□ 17 dix-sept	□ 18 dix-huit	□ 19 dix-neuf
□ 20 vingt	□ 21 vingt et un	□ 22 vingt-deux	□ 30 trente
□ 31 trente et un	□ 32 trente-deux	□ 40 quarante	□ 50 cinquante
□ 60 soixante	□ 70 soixante-dix		

015

□ 71 soixante et onze	□ 72 soixante-douze	□ 73 soixante-treize
□ 74 soixante-quatorze	□ 75 soixante-quinze	□ 76 soixante-seize
□ 77 soixante-dix-sept	□ 78 soixante-dix-huit	□ 79 soixante-dix-neuf
□ 80 quatre-vingts	□ 81 quatre-vingt-un	□ 82 quatre-vingt-deux
□ 83 quatre-vingt-trois	□ 84 quatre-vingt-quatre	□ 85 quatre-vingt-cinq

016

□ 86 quatre-vingt-six	□ 87 quatre-vingt-sept	□ 88 quatre-vingt-huit
□ 89 quatre-vingt-neuf	□ 90 quatre-vingt-dix	□ 91 quatre-vingt-onze
□ 92 quatre-vingt-douze	□ 93 quatre-vingt-treize	□ 94 quatre-vingt-quatorze
□ 95 quatre-vingt-quinze	□ 96 quatre-vingt-seize	□ 97 quatre-vingt-dix-sept
□ 98 quatre-vingt-dix-huit	□ 99 quatre-vingt-dix-neuf	

- ▶ 「1」だけ男性形と女性形の区別がある。女性名詞の前で **une** を用いる。
- ▶ 1の位が「1」のとき、**et** (「〜と」) でつなぐ。が、「81」と「91」は「1」を「- (ハイフン)」でつなげる。
- ▶ 「18」「28」... のように8で終わる数字は、リエゾンやアンシエヌマンが起こるが、「88」は起こらないので注意。
- ▶ 「70」台は「60 + 10, 11, 12, ...」のように表す。「71」だけ「60 **et** 11」という言い方をする。
- ▶ 「80」台は「4 × 20, 4 × 20 + 1, 2, 3, ...」のように表し、「90」台は「4 × 20 + 10, 11, 12, ...」のように表します。「80」だけ語末に **s** を付ける。

## 100以上の言い方

017

□ 100	cent	□ 20,000	vingt mille
□ 101	cent un	□ 100,000	cent mille
□ 200	deux cents	□ 200,000	deux cent mille
□ 250	deux cent cinquante	□ 1,000,000	un million
□ 1,000	mille	□ 2,000,000	deux millions
□ 1,900	mille neuf cents	□ 2,000,900	deux millions neuf cents
□ 1,980	mille neuf cent quatre-vingts	□ 10,000,000	dix millions
□ 2,000	deux mille	□ 50,000,901	cinquante millions neuf cent un
□ 10,000	dix mille	□ 100,000,000	cent millions
□ 11,000	onze mille	□ 200,000,000	deux cent millions

- ▶ 日本語では3桁ごとにカンマ(,)を用いるが、フランス語ではピリオド(.)を用いる。  

日本語	1,000	フランス語	1.000
-----	-------	-------	-------
- ▶ 日本語では小数点にピリオド(.)を用いるが、フランス語ではカンマ(,)を用いる。  

日本語	1.5	フランス語	1,5
-----	-----	-------	-----
- ▶ 200, 300, ... ちょうどには、**deux cents, trois cents, ...** のように語末に **s** が付く。それ以外 (201 ~ 299, 301 ~ 399) では **deux cent un** のように **s** が落ちる。
- ▶ **mille** (1,000) の複数形には **s** を付けないが、**million** (1,000,000) の複数形には **s** を付ける。**million** は名詞なので、単数形には **un** をつけて **un million** という。**million** は直接名詞を修飾できないため、後ろに前置詞 **de** を続け、名詞を修飾する。
  - cinq millions de personnes (500万人の人)
  - cinq millions quarante mille personnes (504万人の人)

018

※ mille があるので de は不要。

## 2

Le numéral ordinal

## 順番を表す！：序数詞

「1 番目の」は名詞に合わせて男女の変化がありますが、「2 番目の」以降は男女同形です。

□ le premier étage (2 階) / la première fois (初回)

019

- ▶ フランス語の「1 階」は日本の 2 階を指す。1 階は le rez-de-chausée という。(カナダでは le premier étage)

020

1 番目の	□ premier(男) / première(女)	6 番目の	□ sixième
2 番目の	□ second(e) / deuxième	7 番目の	□ septième
3 番目の	□ troisième	8 番目の	□ huitième
4 番目の	□ quatrième	9 番目の	□ neuvième
5 番目の	□ cinquième	10 番目の	□ dixième

- ▶ seconde も deuxième も共に「2 番目」という意味だが、seconde は 3 番目以降が存在しないもの、deuxième は 3 番目以降も存在するものに対して用いる。例えば TGV (フランス新幹線) の 2 等席は seconde classe と呼ぶが、かつて 3 等席があった時代は deuxième classe と呼ばれていたそう。

- ▶ 序数は省略形を用いることもできる。

例：premier → 1er

première → 1re(1ère)\*

deuxième → 2e(2ème)\*

troisième → 3e(3ème)\*

\* ( ) で示した表記は誤りとされているが、一般的に用いられている。

- ▶ 序数は、「～世紀」, 「一日(ついたち)」, 「一世」というときに用いられる。

例：21e (vingt et unième) siècle (21 世紀)

le premier avril (4 月 1 日)

Charles 1er (premier) (シャルル 1 世)

## 3

Les mois et les saisons

## 月名と季節

月名は、文中では小文字で表します。

021

1 月	□ janvier	5 月	□ mai	9 月	□ septembre
2 月	□ février	6 月	□ juin	10 月	□ octobre
3 月	□ mars	7 月	□ juillet	11 月	□ novembre
4 月	□ avril	8 月	□ août	12 月	□ décembre

「～月に」は「en + 月名」で表します。

1月に : en janvier

季節はすべて男性名詞です。「春に」は **au printemps** と言いますが、それ以外は母音や無音の h で始まるため、発音の便宜上、**en été**, **en automne**, **en hiver** と言います。

 022

春	□ printemps
夏	□ été
秋	□ automne
冬	□ hiver

4

*Les dates*

## 日付は数字の前に le をつけて

日付を表す「～日」は、「le + 数字」で表します。

6月14日 : le 14 juin

フランス語の年月日は、曜日／日／月／年の順で表します。le は曜日の直前にきていますが、曜日でなく「日」にかかっています。

20XX年4月7日火曜日 : le mardi 7 avril, 20XX  
曜日 日 月 年

「6日, 26日」「8日, 18日, 28日」「10日」のように、日付けが six, huit, dix で終わり、月名が続くとき、日付けの語末の子音 (x や t) を発音しません。

□ le dix janvier [ルディ ジャンヴィエ] (1月10日)

 023

## 5

Les jours

## 曜日

曜日を表す表現は小文字で表します。

024

月曜日	□ lundi	木曜日	□ jeudi	土曜日	□ samedi
火曜日	□ mardi	金曜日	□ vendredi	日曜日	□ dimanche
水曜日	□ mercredi				

直近（先週または来週）の曜日について言うときは、曜日の前に冠詞や前置詞を付けません。「毎週～曜日に」は *le* を、「ある～曜日に」は *un* を、曜日の前に付けます。

(先週または来週の) 土曜日に : *samedi*

毎週土曜日に : *le samedi*

ある土曜日に : *un samedi*

## 6

Les heures

## 時刻はリエゾンのオンパレード

「～時」は *～heure(s)* と言います（省略形は、*～h* です）。*heure(s)* は無音の *h* から始まるので、前の数字とリエゾンやアンシェヌマンが起こります。

[ ] 内の発音を参考にして、リエゾン (ゝ) やアンシェヌマン (へ) を行いましょう。

1時	☐une heure [n] ユヌーەر	13時	☐treize heures [z] トゥれーズーەر
2時	☐deux heures [z] ドゥズーەر	14時	☐quatorze heures [z] キャトゥズーەر
3時	☐trois heures [z] トゥールワズーەر	15時	☐quinze heures [z] キャンズーەر
4時	☐quatre heures [R] キャトゥーーەر	16時	☐seize heures [z] セーズーەر
5時	☐cinq heures [k] サンクーەر	17時	☐dix-sept heures [t] ディセトゥーەر
6時	☐six heures [z] スィズーەر	18時	☐dix-huit heures [t] ディズユィットゥーەر
7時	☐sept heures [t] セットゥーەر	19時	☐dix-neuf heures [v] ディズヌヴーەر
8時	☐huit heures [t] ユィットゥーەر	20時	☐vingt heures [t] ヴァントゥーەر
9時	☐neuf heures [v] ヌヴーەر	21時	☐vingt et une heures [n] ヴァンテユヌーەر
10時	☐dix heures [z] ディズーەر	22時	☐vingt-deux heures [z] ヴァンドゥズーەر
11時	☐onze heures [z] オンズーەر	23時	☐vingt-trois heures [z] ヴァントゥールワズーەر
12時	☐douze heures [z] ドゥーズーەر	24時	☐vingt-quatre heures [R] ヴァンキャトゥーーەر

▶ 「正午」と「0時」は特別な言い方がある。

例：midi (正午) / minuit (0時)

▶ 「1時」のときだけ、heureは単数形。また、heureは女性形の単語なので、une heureと言う。

▶ 午前か午後かはっきりさせたいときは、du matin (午前)、de l'après-midi (午後)、du soir (夜の)を後に付ける。

☐ dix heures du matin (午前10時) / dix heures du soir (午後10時)



「～分」は、heure(s) のすぐ後に数字を付けて表します。「8時1分」は、huit heures une のように、女性形の une を用います。

**2時20分**    :    2h20 (deux heures vingt)

「～時15分」「～時半」は、それぞれ “～heure(s) et quart”, “heure(s) et demie” という特別な表現があります。et は「～と」、quart は「4分の1」、demie は「半分」という意味です。また、「11時15分前」は、11 heures moins le quart と言います (moins = 「マイナス」)。moins の時だけ、quart の前の le を忘れずに！

**～時15分**    :    ～heure(s) et quart  
**～時半**       :    ～heure(s) et demie  
**～時15分前** :    ～heures moins le quart

- 10 heures et quart (10:15)
- 10 heures et demie (10:30)
- 11 heures moins le quart (10:45)



ラジオやテレビのような公の場では、24時間制を用います。24時間制では上記の「～時15分／30分／45分」の特別な表現は用いず、20h15 は vingt heures quinze, 23h30 は vingt-trois heures trente のように、分をそのままの数字で表します。

## Exercices 練習問題

1 次の数字をフランス語にしましょう。

- (1) [            ] euros (596 ユーロ)
- (2) l'année [            ] (1972 年)
- (3) [            ] d'habitants (10,000,000 の人口)
- (4) [            ] heures [            ] (23h45)

2 序数を入れましょう。

- (1) le [1:        ] ministre (首相)
- (2) la [2:        ] guerre mondiale (第二次世界大戦)
- (3) en [4:        ] vitesse (全速力で) \*「4 番目の速さで」という言い方をします
- (4) être au [7:        ] ciel (有頂天になる) \*「第 7 天にいる」という言い方をします

▶ 解答 p.198

1

Les pronoms personnels sujets

主語人称代名詞とは

主語であり、人を表す代名詞を、主語人称代名詞と言います。1人称は「話し手」、2人称は「聞き手」、3人称は「第3者」を表します。

028

人称	立場	単数	複数
1人称	話し手	□ je* 私は(が)	□ nous 私たちは(が)
2人称	聞き手	□ tu 君は(が)	□ vous 君たちは(が), あなたたちは(が)
		□ vous あなたは(が)	
3人称	第3者	□ il 彼は(が)	□ ils** 彼らは(が)
		□ elle 彼女は(が)	□ elles 彼女らは(が)

\*1人称の je は、文中では小文字。

\*\*ils は男性のみのグループと、男女混合グループについて用いられる。

▶ 2人称の vous には ①あなた ②あなたたち(複数) ③君たち(tuの複数)の意味があります。いずれの場合も、動詞の活用は同じです。

□ Vous êtes prêts, les enfants? (用意できたの?) <子どもたちへ>

029

□ Vous êtes prêt, monsieur? (ご用意できましたか) <1人の男性へ>

2人称は tu と vous の2種類があり、相手との関係によって使い分けます。tu は年下・家族・友人・恋人に、vous は初対面の相手・目上・職場の人に対して用いられます。初めは vous で呼び合っているも、親しくなるにつれて tu で呼び合うようになることもあります(tutoyer「tuを使って話す」)。tu か vous で迷った相手に“On se tutoie?(tuを使って話そう)”と言われたら、tu を使うようにしましょう。一度 tu を使い始めたら、vous に戻すことはできません。なので、仕事などで付かず離れずの関係や、礼儀を保ちたい場合、vous を使うのもひとつの方法です。

## 2

L'essentiel, c'est le verbe !

## 文を作る最大要素は、ずばり動詞！

フランス語の基本文型は、英語とほぼ同じです（大きな違いは、目的語が代名詞のとき、目的語が動詞の前にくることです）。フランス語の文型は、**動詞**によって構文が決まります。文の中の動詞がどんな目的語（または属詞）をとるかがわかると、どの文型に属するかがわかります。

英語と比較しやすいよう、3つの基本文型を比べてみましょう。

フランス語の基本文型	例外
① S(主語) + V(動詞)	英語の第1文型：S + V
③ S(主語) + V(動詞) + O(目的語) ④ ただし O が代名詞のとき：S + O + V	英語の第3文型： S + V + O
⑤ S(主語) + V(動詞) + O(目的語) + O(目的語) ただし O が代名詞のとき：S + O + O + V	英語の第4文型： S + V + O + O

動詞は、動作や状態を表す単語で、主語の後にきます。下記の例文は同じ動詞〔原形は être (活用は p.88 参照)〕ですが、主語に合わせて形が変化 (= 活用) しています。決して主語と動詞が入れ替わることはありませんので、主語と動詞をセットで覚えましょう。

□ **Vous êtes japonais ?** (あなたは日本人ですか)

< être

— **Oui, je suis japonais.** (はい、私は日本人です)

< être

030

## 3

Les phrases à la forme affirmative

## 肯定文の作り方

各文型ごとに、文章の構造をみてみましょう。

① S + V (Sujet : 主語, Verbe : 動詞)

動詞が目的語をとらない場合です。

□ **Je travaille.** (私は働きます)

< travailler

031

② S + V + A (Attribut : 属詞)

動詞が属詞をとる場合で、英語 S + V + C (補語) 構文に当たります。属詞は、主語とイコール(=)の関係にあります (S = A)。属詞をとる動詞は être (～だ), devenir (～

になる), *sembler* (～のようだ) などに限られます。

□ **C'est un livre.** (これは本です) \* *Ce = un livre*

032

□ **Ils sont français.** (彼らはフランス人です) \* *Ils = français*

□ **Ce magazine semble violent.** (この雑誌は暴力的にみえる) \* *ce magazine = violent*

### 3&4 S + V + O (Objet : 目的語)

動詞が目的語をとる場合です。目的語とは、動作の対象となるものです。フランス語の目的語は、直接目的語と間接目的語の2つがあり、そのどちらをとるかによって文型が異なります。

### 3 S + V + OD (Objet direct : 直接目的語)

動詞の後ろに直接名詞がくる場合、この名詞は「直接目的語」と呼ばれます。「～を」と訳せることが多いです。

□ **Tu bois du thé ?** (君は紅茶を飲む?)

033

□ **J'aime Marie.** (私はマリーが好きです)

▶ 目的語が代名詞になると、上の例文は **Tu en bois ?** (君はそれを飲む?), **Je l'aime.** (私は彼/彼女が好きです) となり、目的語は動詞の前に移動する。(☞ P.117 「人称代名詞」, P.124 「中性代名詞」)

### 4 S + V + OI (Objet indirect : 間接目的語)

動詞の後ろに、前置詞 **à** か **de** を介し (= 間接的に) 名詞や動詞の原形がくる場合、動詞は「間接目的語をとる」と言います。**à** は「～に」と訳せることが多いです。

動詞によって **à** をとるのか **de** をとるのかが決まっているので、動詞と前置詞をセットで覚えておくと便利です。

□ **Elle téléphone à son fils.** (彼女は息子に電話します)

034

□ **Ma mère s'occupe de faire le ménage.** (母が掃除を担当しています)

□ **Cela dépend de notre budget.** (それは私たちの予算によります)

▶ 伝達に関わる動詞 (*parler* 「話す」, *dire* 「言う」, *envoyer* 「送る」 etc.) は、**à** をとることが多い。

▶ 目的語が代名詞になると、上の例文は **Elle lui téléphone.** (彼女は彼に電話します), **Ma mère s'en occupe.** (母はそれの面倒をえています), **Cela en dépend.** (それはそれによります) となり、目的語は動詞の前に移動する。(☞ P.118 「直接目的語代名詞」)

## 5 S + V + O + O

動詞が目的語を2つとる場合です。少なくともそのうちの1つは、間接目的語です。

A : S + V + OD + OI

□ Il offre des fleurs à sa femme. (彼は妻に花を贈ります)  
<offrir

035

B : S + V + OI + OI

□ Le professeur dit à Jean de lire. (先生はジャンに読むように言います)  
<dire

## 6 S + V + OD + A

英語の S + V + O + C 構文に当たります。文中の A (属詞) は、直接目的語を説明するので、OD = A の関係が成り立ちます。動詞は, trouver (～を…と思う), appeler (～を…と呼ぶ) などです。

□ Je trouve ce film intéressant. (私はこの映画を面白いと思います)  
<trouver

036

□ Il appelle son chat Cannelle. (彼は猫をカネルと名付けます)  
<appeler

# 4

*Les phrases à la forme négative*

## Non ! と言える勇気を：否定形

フランス語の否定形は、動詞を ne と pas で挟んで作ります。動詞が母音や無音の h で始まる場合、ne は n' となるので注意しましょう。

※ 話し言葉では ne (n') が落ちることがある。

否定形 = ne + 動詞 + pas

「ne ～ pas」の pas を入れ替えて、様々な否定表現を作ることができます。

ne ～ plus : もう～ない

□ Je n'habite plus à Tokyo. (もう東京には住んでいません)  
<habiter

037

## ne ~ jamais : 決して~ない

□ Je ne mange **jamais** de viande. (私は肉を**決して**食べません)  
    <manger

## ne ~ rien : 何も~ない

□ Je ne mange **rien**. (私は**何も**食べません)  
    <manger

## ne ~ personne : 誰も~ない

□ Il n'y a **personne**. (誰もいません)  
    <avoir

# 5 L'interrogation simple

## Oui か Non で答える疑問形

La formation de l'interrogation

### 疑問形の作り方

疑問文は、3通りの作り方があります。いずれの場合も、文末に「？」記号を付けます。  
Vous êtes belge. (あなたはベルギー人です) を疑問文にすると以下ようになります。

① □ Vous êtes belge ?

    <être

② □ Est-ce que vous êtes belge ? (あなたはベルギー人ですか)

③ □ Êtes-vous belge ?

□ — Oui, je suis belge. (はい、私はベルギー人です)

□ — Non, je ne suis pas belge. Je suis suisse.  
    <être

(いいえ、私はベルギー人ではありません。スイス人です)

⇒ ① 文はそのままイントネーションを上げる。

⇒ ② 文の前に Est-ce que (エスク) を付ける。イントネーションは上げなくてもよい。

⇒ ③ 主語と動詞を倒置し、「倒置した」という目印の「-」を間に入れる。イントネーションは上げなくてもよい。

038

Les usages selon la situation

### 使われるシチュエーション

①②③の質問は、意味としてはどれも同じですが、丁寧度が①→②→③の順に高くなります。まずは①と②をしっかりと覚えましょう。

⇒ ① 話し言葉でよく使われる。英語のような倒置が不要なので手軽に使える。イントネーションを上げないと肯定文になってしまうので、必ずイントネーションを上げよう。

- ⇒ ② 日常生活で幅広く用いられる。**Est-ce que** で始まる質問には、必ず **Oui** か **Non** かで答えてもらえるため、イントネーションの聞き取りにくい電話などでもよく使われる。**Est-ce que...** は、次に何を言おうか考えるための時間稼ぎにもなる。
- ⇒ ③ ビジネスレターやかしこまった場面で使われる。日常使いとしての頻度は低い。

*Avec les pronoms sujets "il(s)" et "elle(s)"*

### 主語が "il(s)/elle(s)" の場合

039

- ①  Elle travaille ?  
< travailler
  - ②  **Est-ce qu'**elle travaille ?
  - ③  Travaille-**t**-elle ? (つなぎの t)
- (彼女は働いていますか)
- Oui, elle travaille. (はい、彼女は働いています)
  - Non, elle ne travaille pas. (いいえ、彼女は働いていません)

- ⇒ ① 変化なし。
- ⇒ ② **Est-ce que** の後に母音が続くので、**Est-ce qu'** となる。
- ⇒ ③ 動詞が母音で終わる場合 (主語は **il, elle**)、[つなぎの t] を動詞と主語の間に入れて母音衝突を避ける。

*Avec les autres sujets*

### 主語が代名詞でない場合

040

- ①  Léa est heureuse ?  
< être
  - ②  **Est-ce que** Léa est heureuse ?
  - ③  Léa est-**elle** heureuse ?
- (レアは幸せですか)
- Oui, elle est heureuse. (はい、彼女は幸せです)
  - Non, elle n'est pas heureuse. (いいえ、彼女は幸せではありません)

- ⇒ ① 変化なし。
- ⇒ ② **Est-ce que** の後に母音で始まる単語がくると、**Est-ce qu'** となる。→ **Est-ce qu' Hélène est heureuse ?** (エレーヌは幸せですか)
- ⇒ ③ 主語の代わりとなる代名詞 (**Léa** を代名詞にすると **elle**) を立て、立てた代名詞 (ここでは **elle**) を倒置させる。



## Exercices 練習問題

**1** 動詞に注意して, [ ] に à か de を, また不要な場合は×を入れましょう。

- (1) Muriel est [ ] française.  
(ミュリエルはフランス人です)
- (2) J'écris [ ] une lettre [ ] mon professeur.  
(私は先生に手紙を書きます)
- (3) Tu trouves [ ] ma robe jolie ?  
(私のワンピース, 可愛いと思う?)
- (4) Elle demande [ ] son mari [ ] s'occuper [ ] leurs enfants.  
(彼女は夫に, 子どもたちの面倒を見るように頼みます)

**2** 次の文を元に 3 通りの疑問文を作り, Oui と Non で答えましょう。

- (1) Il est italien.  
(彼はイタリア人です)
- (2) Elle parle anglais.  
(彼女は英語を話します)
- (3) Il a 25 ans.  
(彼は 25 歳です)
- (4) Hélène a des enfants.  
(エレーヌには子どもがいます)

▶ 解答 p.198

新出単語 ✓

<input type="checkbox"/>	à	〜へ, 〜で, 〜に
<input type="checkbox"/>	aimer	好む, 愛する
<input type="checkbox"/>	an	年, 歳
<input type="checkbox"/>	anglais	英語
<input type="checkbox"/>	appeler	呼ぶ, 称する
<input type="checkbox"/>	avoir	ある, いる, 飼う, 持つ
<input type="checkbox"/>	belge	ベルギー(人)の
<input type="checkbox"/>	boire	飲む
<input type="checkbox"/>	budget 團	予算
<input type="checkbox"/>	ce	これ, それ, あれ
<input type="checkbox"/>	cela	それ
<input type="checkbox"/>	chat(te)	猫
<input type="checkbox"/>	de	〜から, 〜の, 〜について
<input type="checkbox"/>	demander	頼む, 尋ねる
<input type="checkbox"/>	dépendre	それ次第だ, 依存する
<input type="checkbox"/>	dire	言う
<input type="checkbox"/>	écrire	書く
<input type="checkbox"/>	elle(s)	彼女(ら)は[が]
<input type="checkbox"/>	enfant 團	子ども
<input type="checkbox"/>	être	ある, いる, 〜だ
<input type="checkbox"/>	faire	する, 作る
<input type="checkbox"/>	femme 因	妻, 女性
<input type="checkbox"/>	film 團	映画
<input type="checkbox"/>	fils 團	息子
<input type="checkbox"/>	fleur 因	花
<input type="checkbox"/>	français(e)	フランス(語/人)の
<input type="checkbox"/>	habiter	住む
<input type="checkbox"/>	heureux/heureuse	幸せ
<input type="checkbox"/>	il y a	〜がある
<input type="checkbox"/>	il(s)	彼(ら)は[が]
<input type="checkbox"/>	intéressant(e)	面白い
<input type="checkbox"/>	italien(ne)	イタリア(語/人)の
<input type="checkbox"/>	jamais	決して
<input type="checkbox"/>	Japonais(e)	日本人
<input type="checkbox"/>	je	私は[が]
<input type="checkbox"/>	joli(e)	可愛い, きれいな

<input type="checkbox"/>	lettre 因	手紙
<input type="checkbox"/>	leur(s)	彼(女)らの [[に]
<input type="checkbox"/>	lire	読む
<input type="checkbox"/>	livre 團	本
<input type="checkbox"/>	ma	私の
<input type="checkbox"/>	magazine 團	雑誌
<input type="checkbox"/>	manger	食べる
<input type="checkbox"/>	mari 團	夫
<input type="checkbox"/>	ménage 團	家事
<input type="checkbox"/>	mère 因	母
<input type="checkbox"/>	monsieur 團	男性《敬意を込めて》
<input type="checkbox"/>	non	いいえ
<input type="checkbox"/>	nous	私たちは[が]
<input type="checkbox"/>	offrir	贈る
<input type="checkbox"/>	oui	はい
<input type="checkbox"/>	parler	話す
<input type="checkbox"/>	personne	人, 誰も(〜ない)
<input type="checkbox"/>	prêt(e)	準備のできた
<input type="checkbox"/>	professeur 團	先生
<input type="checkbox"/>	robe 因	ワンピース
<input type="checkbox"/>	s'occuper	世話をする
<input type="checkbox"/>	sa	彼の, 彼女の
<input type="checkbox"/>	sembler	見える, 〜らしい
<input type="checkbox"/>	son	彼の, 彼女の
<input type="checkbox"/>	suisse	スイス(人)の
<input type="checkbox"/>	téléphoner	電話する
<input type="checkbox"/>	thé 團	茶
<input type="checkbox"/>	travailler	働く, 勉強する
<input type="checkbox"/>	trouver	見つける, 考える, 思う
<input type="checkbox"/>	tu	君は[が]
<input type="checkbox"/>	un(e)	1, 1つの, ある〜
<input type="checkbox"/>	viande 因	肉
<input type="checkbox"/>	violent	暴力的な
<input type="checkbox"/>	vous	あなたは[が], 君[あなた]たちは[が]

第4課 チーズは男性名詞だけどバゲットは女性名詞？：名詞

1

Masculin ou féminin ?

男性名詞か女性名詞？

フランス語の名詞には性があり、男性名詞か女性名詞に分類されます。単語の語尾によって、男性名詞か女性名詞かを見分けることもできます。ただし、例外も多いので、新しい単語は冠詞とセットで覚えましょう。

La finale des noms masculins

男性名詞の語尾

041

語尾	例	例外
-age	<input type="checkbox"/> le paysage (風景) <input type="checkbox"/> le stage (研修) <input type="checkbox"/> l'étage (階) <input type="checkbox"/> le fromage (チーズ)	<input type="checkbox"/> la cage (檻) <input type="checkbox"/> l'image (イメージ) <input type="checkbox"/> la page (ページ) <input type="checkbox"/> la plage (浜辺)
-eau	<input type="checkbox"/> le bateau (船) <input type="checkbox"/> le gâteau (菓子) <input type="checkbox"/> le couteau (ナイフ) <input type="checkbox"/> le château (城)	<input type="checkbox"/> l'eau (水)
-isme	<input type="checkbox"/> l'optimisme (楽観主義) <input type="checkbox"/> le réalisme (現実主義) <input type="checkbox"/> le communisme (共産主義)	
-phone	<input type="checkbox"/> le téléphone (電話) <input type="checkbox"/> le xylophone (木琴)	
-scope	<input type="checkbox"/> le magnétoscope (ビデオレコーダー) <input type="checkbox"/> le télescope (望遠鏡)	

La finale des noms féminins

女性名詞の語尾

042

語尾	例	例外
-ance	<input type="checkbox"/> la connaissance (知識) <input type="checkbox"/> la naissance (誕生) <input type="checkbox"/> l'importance (重要性)	
-ence	<input type="checkbox"/> la différence (違い) <input type="checkbox"/> la présence (存在) <input type="checkbox"/> la décadence (退廃)	<input type="checkbox"/> le silence (静粛)
-ode	<input type="checkbox"/> la méthode (方法) <input type="checkbox"/> l'épisode (エピソード)	<input type="checkbox"/> le code (暗号)
-ude	<input type="checkbox"/> la certitude (確かさ) <input type="checkbox"/> l'attitude (態度)	<input type="checkbox"/> le prélude (前奏曲)

-ette	<input type="checkbox"/> la <b>baguette</b> (バゲット) <input type="checkbox"/> la <b>cigarette</b> (タバコ)	
-sion	<input type="checkbox"/> la <b>décision</b> (決定) <input type="checkbox"/> la <b>conclusion</b> (結論) <input type="checkbox"/> la <b>télévision</b> (テレビ)	
-tion	<input type="checkbox"/> la <b>nation</b> (国家) <input type="checkbox"/> la <b>station</b> (駅) <input type="checkbox"/> la <b>communication</b> (コミュニケーション)	
-té	<input type="checkbox"/> la <b>santé</b> (健康) <input type="checkbox"/> la <b>beauté</b> (美) <input type="checkbox"/> la <b>sûreté</b> (確かさ) <input type="checkbox"/> la <b>société</b> (社会)	<input type="checkbox"/> le <b>côté</b> (側) <input type="checkbox"/> le <b>comité</b> (委員会) <input type="checkbox"/> l' <b>été</b> (夏) <input type="checkbox"/> le <b>pâté</b> (パテ)
-ture	<input type="checkbox"/> la <b>ceinture</b> (ベルト) <input type="checkbox"/> la <b>culture</b> (文化) <input type="checkbox"/> la <b>peinture</b> (絵画)	

*Pour les personnes et les animaux*

### 人や動物の場合

人を表す名詞の場合、その人の性別によって男性形と女性形に変化します。男性名詞と女性名詞の語尾の形をペアで覚えておくと便利です。

多くの場合、男性形に **e** を付けると女性形になります。

 043

男性形 (masculin)	女性形 (féminin)
<input type="checkbox"/> un <b>étudiant</b> (男子学生)	<input type="checkbox"/> une <b>étudiante</b> (女子学生)
<input type="checkbox"/> un <b>ami</b> (男友達)	<input type="checkbox"/> une <b>amie</b> (女友達)
<input type="checkbox"/> un <b>employé</b> (男性従業員)	<input type="checkbox"/> une <b>employée</b> (女性従業員)
<input type="checkbox"/> un <b>cousin</b> (従兄弟)	<input type="checkbox"/> une <b>cousine</b> (従姉妹)

女性形の語尾が特殊な形になる単語もあります。

 044

男性形	女性形
<input type="checkbox"/> un <b>acteur</b> (俳優)	<input type="checkbox"/> une <b>actrice</b> (女優)
<input type="checkbox"/> un <b>chanteur</b> (男性歌手)	<input type="checkbox"/> une <b>chanteuse</b> (女性歌手)
<input type="checkbox"/> un <b>cuisinier</b> (男性料理人)	<input type="checkbox"/> une <b>cuisinière</b> (女性料理人)
<input type="checkbox"/> un <b>musicien</b> (男性ミュージシャン)	<input type="checkbox"/> une <b>musicienne</b> (女性ミュージシャン)